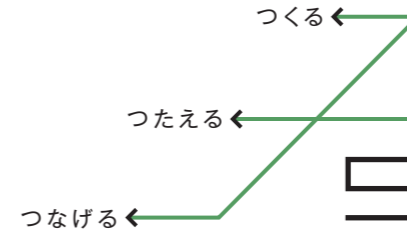




個の力を引き出す。

# 創 innovation 新

Courage to Challenge



# SO-SHIN

## イベントカレンダー

詳細はホームページをご覧ください。▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

イベント名	場所	日時
第1講座(医学研究科) 脳の健康 「アルツハイマー病を知る」 医学研究科 准教授 松川 則之 「睡眠障害と脳の健康」 医学研究科 准教授 中山 明峰 「脳梗塞の最新治療と予防」 医学研究科 准教授 片野 広之	桜山キャンパス 医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A	11月9日(土) 13:00~16:30
第2講座(薬学研究科) 「病気」と「遺伝子」の関係 「暗号を解読せよ!~生命の設計図と薬~」 薬学研究科 教授 藤原 俊伸 「遺伝子のキズががんの始まり? ~くすりはがんを克服できるか?~」 薬学研究科 教授 林 秀敏 「生活習慣病と遺伝子 ~くすりは遺伝子を制御できるか?~」 薬学研究科 准教授 長田 茂宏	田辺通キャンパス 講義 図書館棟 1階 宮田専治記念ホール 終了後、構内見学(30分程度)を予定	10月19日(土) 13:00~17:00
第3講座(経済学研究科) 情報ネットワークの深化と経営革新 「情報技術と製品開発」 経済学研究科 講師 大神 正道 「情報技術とマーケティング」 経済学研究科 講師 山本 奈央	滝子キャンパス 3号館1階 101教室	10月5日(土) 10:00~12:00
第4講座(人間文化研究科) 文化と価値を再考する A「カトリック総本山、バチカンの秘密-教皇の歴史的交代劇をめぐって-」 人間文化研究科 教授 松本 佐保 B「ESDって何のこと?~ESDユネスコ世界会議あいちなごや~」に向けて-」 人間文化研究科 教授 別所 良美	滝子キャンパス1号館2階 203教室	A 10月12日(土) 10:30~12:00 B 11月2日(土) 13:30~15:00
第5講座(芸術工学研究科) アート & ロボティクス 「機械化の美術史」 芸術工学研究科 教授 作間 敏宏 「ヒューマン & ロボティクス」 芸術工学研究科 准教授 加藤 大香士	北千種キャンパス 芸術工学棟 M101教室	11月16日(土) 13:00~17:00
第6講座(看護学部) 家庭で活用できる感染予防の基礎知識 【講義】「標準予防策とは」 看護学部 准教授 船本 寛子 【演習】「手指衛生・汚物処理時のマスク・エプロン・手袋の使用方法について」 看護学部 教授 矢野 久子、准教授 船本 寛子、助教 長尾 多美子	桜山キャンパス 看護学部棟 3階 308講義室 5階 502・503・505実習室	10月12日(土) 13:30~15:00
第7講座(システム自然科学研究科) ウイルスを知る 「ウイルス研究の最近の話題」 システム自然科学研究科 教授 鈴木 善幸	桜山キャンパス 本部棟4階ホール	10月5日(土) 14:00~16:30
①経済学部「経済史II」 経済学研究科 准教授 木谷 名都子 全15回	滝子キャンパス3号館1階 101教室	9月25日~翌年1月15日 毎週水曜日 10:40~12:10
②人文社会学部「英文法各論」 人間文化研究科 教授 日木 満 全15回	滝子キャンパス1号館2階 202教室	9月27日~翌年1月17日 毎週金曜日 13:00~14:30
③人文社会学部「名古屋と観光」 人間文化研究科 教授 山田 明・吉田 一彦・成田 徹男・阪井 芳貴 JR東海 相談役 須田 寛(予定) 全15回	滝子キャンパス1号館2階 201教室	9月27日~翌年1月17日 毎週金曜日 13:00~14:30
④芸術工学部「地域空間構成論」 芸術工学研究科 教授 三上 訓順 全15回	北千種キャンパス芸術工学部 管理棟2階 A202教室	9月23日~翌年1月22日 毎週月曜日 および1月22日(水) 10:40~12:10
⑤看護学部「看護学概論II」 看護学部 准教授 香月 富士日 全7回	桜山キャンパス看護学部棟 3階 301講義室	11月19日~翌年1月14日 毎週火曜日 10:40~12:10
Human & Social サイエンスカフェ 参加費/1,000円(茶菓代・資料代) 保育と音楽II ~リトミックを通して育つものは?~ 人間文化研究科 准教授 古賀 弘之	桜山キャンパス 西棟 1階 サクラサイドテラス	8月31日(土) 15:00~17:00
医療・保健 学びなおし講座(秋期) 受講料/10,000円(1講座につき) 火曜日 感染症のABCからZまで 水曜日 発達障害を学ぶ/医学的理解から教育/療育へ 木曜日 Birth Tour 2013 ~安全なお産を目指して~ 各講座全15回	桜山キャンパス 医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A・B 西棟1階 臨床シミュレーションセンター	9月3日(火)開講 毎週火・水・木曜日 18:30~20:00
健康科学講座 オープンカレッジ 第2期「こころと脳の医学最前線」 受講料/8,000円 全8回	桜山キャンパス 医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A	9月6日~10月25日 毎週金曜日 18:30~20:00
サイエンスカフェ イン名古屋 参加費/600円(コーヒー/紅茶/ジュース+ケーキ) 第80回「遺伝子をつなぐ染色体の不思議」 システム自然科学研究科 准教授 中山 潤一	中区栄 ナディアパーク7階 7th Café(セブンスカフェ)	9月20日(金) 18:00~20:00
薬草園市民公開 受講料/500円	田辺通キャンパス 薬友会館3階 水野ホール、薬草園	10月4日(金)・5日(土) 10:00~12:00
千種生涯学習センター 連携講座 芸術工学の諸相 一身体・動作・感覚・環境- ①「椅子のデザイン史」 芸術工学研究科 教授 伊藤 恭行 ②「イタリアの建築遺産とまちづくり」 芸術工学研究科 教授 青木 孝義 ③「3次元形状・動作を測る」 芸術工学研究科 教授 横山 清子 ④「からだの錯覚」 芸術工学研究科 准教授 小鷹 研理	北千種キャンパス アセンブリーホール2階 環境デザイン研究所 セミナールーム	10月21日(月) ①午前②午後 11月11日(月) ③午前④午後
人間文化研究所 講演会・シンポジウム 「現代社会における文化財保護の新しいあり方 -「パブリック・アーケオロジー」の視座から-」	桜山キャンパス さくら講堂	10月27日(日) 13:30~17:00
経済研究所 第18回 公開シンポジウム 「データで見る経済と経営」	滝子キャンパス3号館1階 101教室	11月8日(金) 13:30~16:00

### ご意見・情報募集中!

学内広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。また、広報に関する報告・相談には「広報ホットライン」をご活用ください。

教職員限定サイト ▶▶▶ <http://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/hotline>

<ご協力ください> 敷地内・周辺道路は禁煙です。

発行/平成25年8月  
事務局入試広報課 TEL: 052-853-8328 FAX: 052-841-7428  
E-mail: [ncu\\_public@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp)  
名古屋市立大学ウェブサイト ▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/>

Vol.10

夏号

2013

SUMMER

2013 SUMMER



目次

学長メッセージ/名古屋市立大学 歴史年表……P1・2 トピックス/教員著書・発行物紹介……P3・4 病院機能評価認定/受賞/国際交流/東日本大震災関連情報……P5  
人事情報/寄附顕彰/カラダのことを考えよう……P6 イベントカレンダー……P7



広報ボランティアNCU.infoのメンバー

学長 Message



▲戸谷学長(左)と大波多廣文さん(昭和47年~52年本学事務局長在任)

歴史年表の重み

理事長・学長 戸苺 創 Hajime Togari

この度、本学の歴史を忠実に年代の順を追って記載し、これを一枚に投影した「歴史年表」が完成しました。創起から名古屋市立大学の開学まで、そしてその後、各学部および研究科等がその時代背景を象徴するように次々と開設されてきました経緯を一時に納めることが出来ました。中央には本学の公式徽章を配し、沿革を付記することで、史実に基づいたこの年表の重みが増しました。

年表の完成には、現在93歳となられてなお明晰な頭脳をお持ちの超人で、初代学長の戸谷銀三郎先生とともに本学創設に多大なる貢献をされました当時の本学事務局長・大波多廣文様への、驚くべき詳細な描写とお話を参考にしています。桜山キャンパス内図書館の三階にあります、装いも新たになりました「さくら講堂」のロビーに大型のパネルで掲示していますが、今回は、本学にゆかりのあります全ての皆様にご覧いただくため、創新の一頁を飾らせていただいた次第です。どうぞろーべをご利用いただきご鑑賞ください。

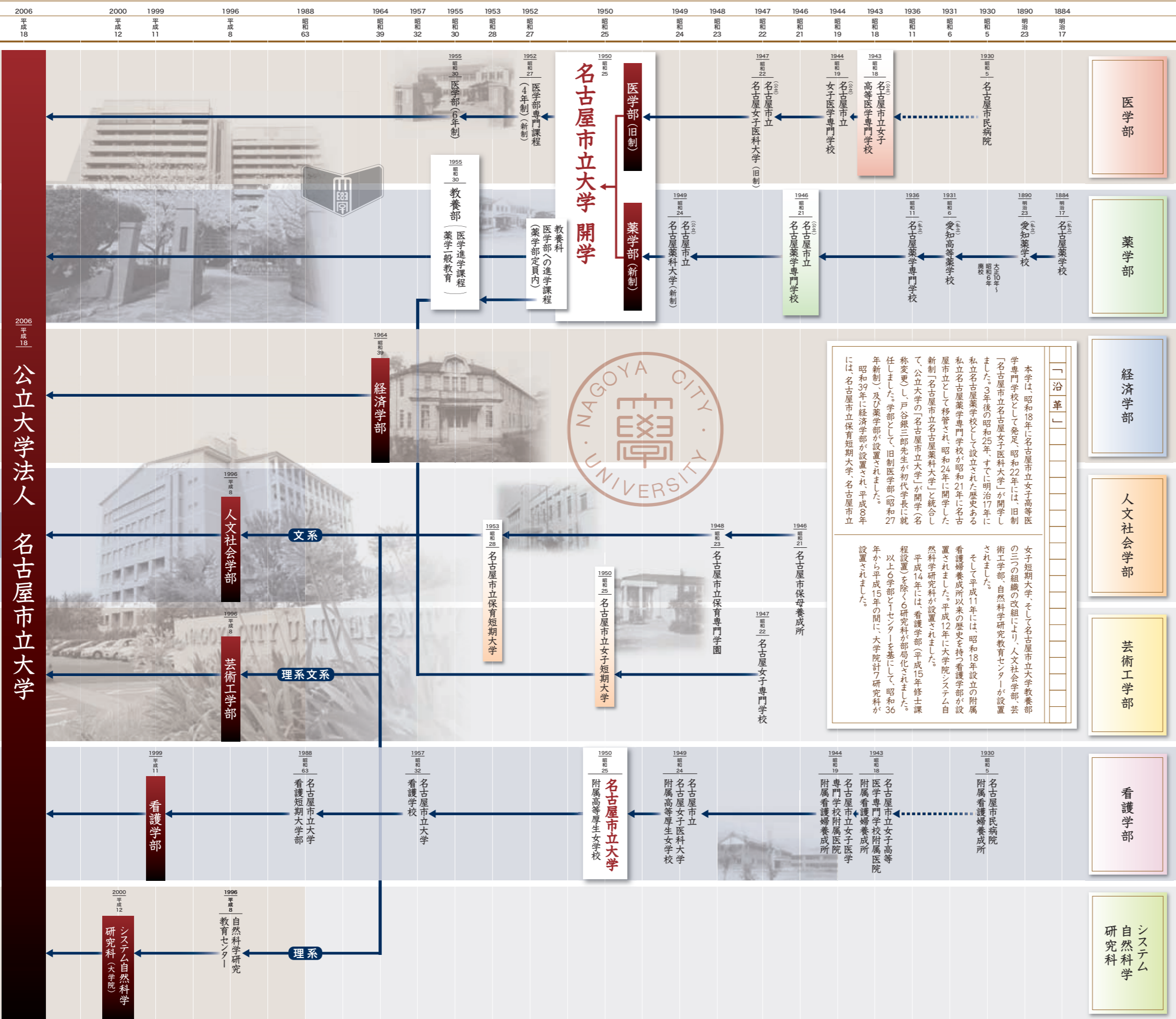
キャンパスにパネルを設置

2013年5月より、左の年表と同じ内容の大きな年表パネルが、さくら講堂のロビーおよび田辺通キャンパスの薬友会館にも設置されています。今後は各キャンパスにも掲示予定ですので、ぜひご覧ください。



名古屋市立大学

歴史年表



# TOPICS

## 事務局長就任のご挨拶

副理事長・事務局長 三宅 勝



4月1日付で副理事長・事務局長を拝命し、早くも5か月が過ぎました。これまで行政の側から名古屋市立大学を拝見してまいりましたが、大学の一員として大学の運営に実際にかかわってみますと、理事長を中心として教職員が一丸となって改革に取り組んでおられることを実感いたします。

平成18年の公立大学法人名古屋市立大学誕生以来、自主自立的な環境の下、魅力ある教育と研究を積極的に展開するよう、日々努力を重ねられてきています。「温故創新」を掲げ、平成25年度をChallenging Yearと位置づけて新しい事業を展開しているところですが、これまでの皆様のたゆみないご努力に感服いたします。教育改革・医療改革の議論が盛んな今日、微力ではございますが、皆様と力を合わせて新たな改革に取り組んでまいりたいと存じます。よろしくお祈りいたします。

## 大相撲錦戸部屋親方が来院

6月28日(金)、錦戸親方(元関脇水戸泉)と現役力士の神の山関が入院患者の慰問のため医学部附属病院に来院されました。子供たちは初めて見るおすもうさんにびっくり。最初は恐々と見上げていましたが、快く握手や写真に応じてくれる優しいお二人に次第に打ち解け、笑顔あふれる時間となりました。



▲小児科病棟訪問の様子

## 22世紀研究所 設立記念講演会を開催

2013年6月21日(金)、22日(土)と2日間連続にて、名古屋市立大学22世紀研究所設立記念講演会を開催いたしました。1日目は滝子キャンパス3号館201教室にて、中川一郎特任教授による「22世紀のグローバルマーケット～50年、100年先はいかなる世界になるのか」及び兵藤長雄特任教授による「巨大国家ロシアの政治経済動向～50年100年先を見据えて」を行い、約200名の方にご来場いただきました。2日目は桜山キャンパスさくら講堂にて、守誠副所長・特任教授による「簡略英語を22世紀の世界言語に!～これまでの欧米中心の英語を捨て、アジアで通用する英語を母体とした新しくやさしい言語の創造を!」及び青木洋特任教授による「手製ヨット「信天翁(あほうどり)二世号」による単独世界一周～三年二ヶ月の航海から得た視点を基に、22世紀に求められるリーダーシップ教育を考える」を行い、約190名の方にご来場いただきました。両日とも、多くの方にご来場いただき、好評を得ることができました。今後も随時、講演会等を開催してまいります。



▲守 誠 副所長・特任教授 講演会の様子

## 「介護支援ロボット」実証試験を開始

人の移動などを支援する介護福祉現場での活躍が期待される「介護支援ロボット」の共同研究を、独立行政法人理化学研究所、東海ゴム工業株式会社、名古屋市及び本学の4者で実施しています。

介護支援ロボットの実用化に向けて、臨床現場での検証が不可欠であるため、7月4日(木)に医学部附属病院で実証試験を開始しました。引き続き検証を進め、介護支援ロボットの実用化に寄与してまいります。



▲病院リハビリテーション部での試験の様子

## エコスタイル運動の取り組み推進

- 職員自らが率先して環境に配慮した行動を継続して行うため、5月7日から10月31日まで「エコスタイル運動」を実施しています。
- その他、各課・室・学部・病院単位でもパソコンやエアコンの節電を徹底するなど、本学一丸となって省エネに取り組んでいます。



## 外国人教員によるチャリティコンサートを開催

7月5日(金)、滝子キャンパス学生会館大ホールにて、本学外国人教員6名と学生によるチャリティ活動グループ「The Wise Guys」による恒例のチャリティコンサートが行われました。150人を超える観客で、会場は大いに盛り上がりました。集まった金額約60,000円は、国際NGO団体「難民を助ける会」に寄付されました。



(後列左から)  
勝田知里さん(人社4年)  
長野有希子さん(人社3年)  
Thomas Bauerle先生  
(前列左から)  
Jesse Sokolovsky先生  
Louise Haynes先生  
Venecia Williams先生  
小澤慧さん(経済4年)  
Sarah Mulvey先生  
Ben Backwell先生

### The Wise Guysとは?

本学外国人教員と学生が協力してチャリティ活動を支援するボランティアグループです。

### 【これまでの活動】

- グアテマラ、ベトナムの孤児院に文房具を寄附
- 名古屋市内の戦争と平和博物館「ピースあいち」のパンフレット作成を支援
- 国際NGO難民を助ける会の東日本大震災に寄附

## 10月19日(土) 名古屋市立大学交流会 設立総会・記念講演会および懇親会を開催します

名古屋市立大学交流会の設立を記念して、ノンフィクション作家で評論家の柳田邦男氏による記念講演会を開催します。「人間をみる目～専門的職業人として～」というテーマでお話をさせていただきます。会員になられていない方もご参加できますので、ぜひお申し込みください。

日時：2013年10月19日(土) 13:30～17:30

会場：設立総会・記念講演会/桜山キャンパスさくら講堂  
懇親会/桜山キャンパス本部棟4階ホール

申込方法：下記交流会公式サイトよりお申し込みいただくか、交流会事務局までご連絡ください。  
名古屋市立大学交流会事務局(事務局総務課内)  
Tel:052-853-8003 FAX:052-841-6201 E-mail:koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp

## 「名古屋市立大学交流会 公式サイト」を開設しました

卒業生、修了生、現旧教職員など、本学とゆかりのある方々を会員とし、本学と社会を結ぶ組織として発足した「名古屋市立大学交流会」の公式サイトが2013年8月に公開されました。活動や行事のご案内など随時掲載していきますので、ぜひご覧ください。



URL ▶▶▶ <http://www.koryukai.jp>



教員  
著書・発行物  
紹介

BOOK

最近発行された教員の著書・発行物等を紹介します

## 大西洋を越えるハンガリー王国の移民 —アメリカにおけるネットワークと共同体の形成—



人間文化研究科 教授  
山本 明代

出版社：彩流社  
2013年2月

本書は、19世紀後半から20世紀初頭にかけてハンガリー王国からアメリカ合衆国に渡った移民の家族、アソシエーション、労働の場、エスニック集団を取り上げ、移動に伴う人々の関係性の変容を考察しました。移民者の手記や政府の文書、移民コミュニティで発行された新聞などを読み解き、エスニシティ、人種、ジェンダー、階級の視点から移民の主体性を描き出し、移動によってダイナミックに変化する社会的結合を明らかにしました。

## 超話せる! 守 誠のゆるゆる・簡略英語



特任教授  
守 誠

出版社：明日香出版社  
2013年5月

難しい文法や、ややこしい語法など、日本人が英語を学ぶときに誰もが一度はつまずく「正統派英語」を全部捨てます!「これだけで英語は通じる」ことがわかる、驚きと感動の1冊。動詞はすべて規則変化。単現のsは使わない! 未来形は使わない! 関係代名詞は使わない! 通じる会話のために、不要な文法はこのさい全部捨てませんか。きっと肩の荷が下りるはずです。大丈夫、細かな文法なんて気にしなくても、ちゃんと通じますよ。

教職員の  
皆様へ

本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。

# 大学人事

平成25年4月2日～7月1日 異＝異動 昇＝昇任

## 採用

▼**医学研究科**  
 助教(加齢・環境皮膚科学) 古橋 卓也  
 助教(腫瘍・免疫内科学) 上村 剛大  
 プロジェクト推進員(細胞生化学) 西村 耕太郎  
 育児休業等代替専門職員(再生医学) 田中 あや

▼**山の畑事務室**  
 事務系職員(事務第一係) 松尾 美幸

▼**芸術工学部事務室**  
 事務系職員(学務係) 滝本 絵美

▼**看護学部事務室**  
 事務系職員(学務係) 森 由美

▼**病院 診療科**  
 言語聴覚士(耳鼻いんこう科) 中島 さやか  
 技術系職員(眼科) 原 弥生

▼**リハビリテーション部**  
 技術系職員(作業療法係) 奥家 孝将

▼**薬剤部**  
 技術系職員(調剤係) 與儀 奈美  
 技術系職員(調剤係) 真川 明将

▼**臨床試験管理センター**  
 臨床検査技師 藤井 妙恵

## 異動

▼**医学研究科**  
 (昇)講師(整形外科) 林 克洋(助教より)  
 (昇)講師(環境保健学) 伊藤 由起(助教より)  
 (昇)准教授(麻酔・危機管理医学) 有馬 一(講師より)  
 (昇)准教授(消化器・代謝内科学) 野尻 俊輔(講師より)

▼**病院 看護部**  
 (異)看護師(看護事務室) 古川 陽介(15階北より)  
 (異)看護師(看護事務室) 青木 彩乃(8階北より)  
 (異)看護師(中央手術部) 相宮 一葉(11階北より)  
 (異)看護師(救命救急センター) 柘植 敬子(13階北より)  
 (異)看護師(14階北) 奥村 愛子(看護事務室より)  
 (異)看護師(9階南) 寺尾 璃沙(NICU・GCUより)

## 退職

▼**事務局 入試広報課**  
 主事(入試係) 関谷 香里

▼**医学研究科**  
 助教(加齢・環境皮膚科学) 岩井 敦子  
 助教(実験病態病理学) 佐藤 慎哉  
 助教(臨床病態病理学) 佐藤 文彦  
 助教(産科婦人科学) 西川 隆太郎  
 助教(麻酔・危機管理医学) 加古 英介

▼**山の畑事務室**  
 事務系職員(事務第一係) 中屋 香里

▼**芸術工学部事務室**  
 事務系職員(学務係) 鬼頭 芳実  
 実験実習補助員(学務係) 小柴 栄

▼**病院 診療科**  
 言語聴覚士(耳鼻いんこう科) 伊藤 綾野

▼**臨床試験管理センター**  
 技術系職員 藤井 妙恵

▼**看護部**  
 看護師(中央手術部) 三輪 真夏穂  
 看護師(中央手術部) 西久保 佐友里  
 看護師(ICU・CCU) 高田 絵莉  
 看護師(9階北) 友田 沙希  
 看護師(NICU・GCU) 山本 菜摘紀  
 看護師(13階北) 山本 裕美  
 看護師(15階北) 清友 麻里  
 看護師(12階南) 山守 まゆみ  
 看護師(12階南) 近藤 千尋  
 看護師(12階南) 野村 梢  
 看護師(14階南) 野村 明香  
 看護師(16階南) 山下 晴香

▼**管理部 医事課**  
 管理栄養士(栄養管理係) 伊藤 明美  
 育児休業等代替事務系職員(医事係) 野崎 恵子

お悔やみ申し上げます

▼**医学研究科**  
 准教授(実験病態病理学) 朝元 誠人

# 国際交流

## 新・病院機能評価 ～全国で第1号認定～

医学部附属病院は今年度4月に「病院機能評価」を受審し、8月2日付で認定を受けました。病院機能評価とは日本医療機能評価機構が実施する医療機関の第三者評価のことで、附属病院にとっては2007年度以来2回目の受審となりました。

病院機能評価の評価基準は今年度から大幅にバージョンアップされましたが、早くから受審準備を進めてきた努力が実を結び、同規模の急性期病院において全国で第一号認定をいただくことができました。

## ハルリム大学の学生 医学部・看護学部にて短期研修

2013年6月17日(月)より1週間、看護学部にて韓国の協定校の一つであるハルリム大学医学部看護学科から4名の学生を受入れ、短期看護研修を行いました。昨年度実施した本学看護学部生によるハルリム大学での短期研修の実績を踏まえ、今年度は同学より学生を受入れることで学生交流の推進を目指します。

一方、7月1日からは同ハルリム大学医学部より2名の医学部生を受入れ、本学附属病院にて4週間の臨床実習を行いました。学生達はそれぞれ整形外科・精神科及び腫瘍免疫内科にて実習を行いました。2009年度よりほぼ毎年行われているこの臨床実習は、ハルリム大学の学生にとって海外の病院での経験を積む貴重な機会となっているようです。



▲短期看護研修 在学生との交流会



▲医学部臨床研修 浅井研究科長を訪問

## 留学生懇親パーティーを開催

7月5日(金)、滝子キャンパス学生会館大ホールにて留学生懇親会が開催され、留学生と教職員及び関連機関の方々など約100名が参加しました。留学生による歌の披露やオーケストラ部の演奏、また教職員・在学生、協定校である名工大との親睦をはかることができ、留学生にとって楽しい交流のひとつとなりました。



▲パーティーの様子

## 平成25年度 外国人客員研究員の招へい(8月末現在)

外国人客員研究員等招へい者				研究課題名
氏名	国籍	現職	招へい期間	
Filippo Molinari (フィリッポ・モリナーリ)	イタリア	准教授、トリノ工科大学 生体医用工学部電子工学通信学科	6月29日～7月8日	生体信号処理及び医用画像処理に関する研究
Richard J Lang (リチャード・ラング)	オーストラリア	上席主任研究員、モナシュ大学生物医学部 生理学	8月4日～8月17日	腎盂尿管蠕動の発生伝播機構についての研究

協定校トリノ工科大学のモリナーリ准教授(左から3人目)が戸辺学長を表敬訪問▶



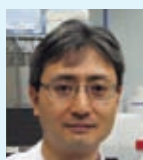
## 受賞

※受賞期間：2013年5月1日～2013年7月30日  
 ※敬称略、各研究科ごとに表示

### 医学研究科



一般社団法人 日本泌尿器科学会  
 第260回 日本泌尿器科学会  
 東海地方会 優秀発表賞  
 腎・泌尿器科学分野 臨床研究  
 飯田 啓太郎



10th International Gastric  
 Cancer Congress  
 Best Poster Award  
 消化器外科学分野 講師  
 松尾 洋一



日本炎症・再生医学会  
 第34回 日本炎症・再生医学会  
 優秀演題賞  
 再生医学分野 講師  
 金子 奈穂子



日本集中治療医学会 東海北陸地方会  
 第21回 日本集中治療医学会  
 東海北陸地方会 優秀演題  
 麻酔・危機管理医学分野 シニアレジデント  
 小笠原 治

日本産婦人科・新生児 血液学会  
 第23回 優秀演題

産科婦人科学分野 シニアレジデント 林 裕子

### 薬学研究科



日本東洋医学会  
 第25回 日本東洋医学会 奨励賞  
 生薬学分野 准教授  
 牧野 利明



日本酸化ストレス学会  
 第66回 日本酸化ストレス学会  
 学術集会 学術奨励賞  
 薬化学分野 助教  
 家田 直弥

## 東日本大震災関連情報



▲前列右側が加藤助教

本学では、東日本大震災への復興支援を引き続き行ってまいります。今後も学内一丸となって出来る限りの支援を行ってまいりますので、皆様ご協力のほどよろしくお願い致します。

### ▶ 内分泌・糖尿病内科医師を派遣

当院では被災地医療機関への支援を行うため、2013年7月15日(月)から19日(金)までの間、福島県内の検査場所に内分泌・糖尿病内科医師・加藤岳史助教を派遣しました。

あなたのことを考えよう

### ピロリ菌って?

産業医 林 香月

最近よく耳にする「ピロリ菌」の正式名称は「ヘリコバクター・ピロリ(Helicobacter pylori)」です。多くは幼児期に感染し、胃内に棲みつづけます。胃内には胃酸がありますが、ピロリ菌はアンモニアを発生することにより胃内で生きることが出来ます。

ピロリ菌の感染が継続すると、胃の炎症をおこし萎縮性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃がんの原因になることが明らかになってきました。日本人のピロリ菌感染者数は3,000万人以上といわれており、ピロリ菌に関連する疾患には除菌療法(菌を殺す)が勧められています。従来、胃潰瘍などの除菌療法が保険適用でしたが、最近では慢性胃炎も追加適応となりました。除菌方法は2種類の抗生物質と胃酸を抑える薬剤を内服します。検診でピロリ菌感染を指摘された方や心配な方は、かかりつけの病院で相談されてみてはいかがでしょうか。

## 寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

■ 個人

500,000円以上	西山 敬吾 様	三浦 康弘 様	
100,000円以上	松村 榮久 様		
50,000円以上	布目 鐘 様		
20,000円以上	清水 みちこ 様	田中 雅之 様	長野 浩次 様
10,000円以上	石崎 正人 様	中村 陽一 様	鳴神 大平 様 野間 秀一 様
5,000円以上	秋野 千穂 様	角田 剛 様	土居 照幸 様 中野 剛夫 様
	野木村 宏 様	渡辺 伸二 様	
非公表	青山 高美 様	井村 英人 様	上田 雅和 様 川合 哲也 様
	酒井 泰彦 様	相模 充彦 様	鈴木 富雄 様 豊蔵 むつ子 様
	林 俊文 様	山本 淳子 様	

■ 企業・団体

1,000,000円以上	株式会社東忠 代表取締役 丁 偉儒 様
500,000円以上	きのこのSATO株式会社 代表取締役 佐藤 博文 様 酔仙酒造株式会社 様 名古屋栄ロータリークラブ 様
250,000円以上	東海岩手県人会 様

(五十音順・公表に同意された方。2013年4月1日～6月30日現在)